

# 食農データベースと結合したオンデマンド出版で 地域の特徴ある教材づくりを!

## 食と農の調べ学習 専門サイト

東海農政局の調査にもあるように(4面参照)、総合的な学習の時間」の実施をまえにして農業体験学習に取り組み学校が大きく増えている。「総合的な学習の時間」では、このような「体験学習」とともに、体験を基にした「調べ学習」が重視されているが、食や農の本などはなかなか身近な場所にもろってないし、たとえ本がそろっていても、自分が求める情報に的確に行き着くのは容易なことではない。

そういう状況の下で、農文協がインターネット上に開設した「食と農 学習のひろば」(http://www.gakko.ruralnet.or.jp/)は

食と農の膨大な情報を持つ農文協のデータベースがアップされており、「苗つくり」×「病気」とか、「外国」×「稲作」など、自分や子どもたちに必要な情報のキーワードを入れれば、何の本(雑誌)の何頁を調べればよいかがちがいにわかる。これらの

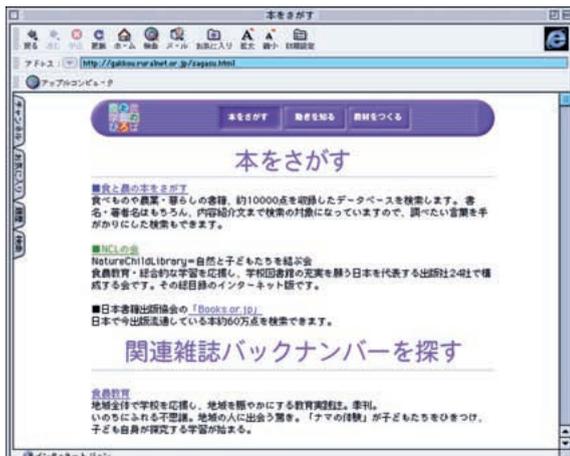
食と農の調べ学習を支援する豊富な情報を提供している。このサイトには、生活・家政学図書目録、日本農業書録、農文協書籍目録の一万点にのぼる書誌データベースがある。さらには現在流通している本すべてが載っている日本書籍出版協会のデータベースBooksがリンクされており、食と農の調べ学習に役立つ書籍・雑誌の検索が無料である。

しかも、それだけでなく、食と農の膨大な情報を持つ農文協のデータベースがアップされており、「苗つくり」×「病気」とか、「外国」×「稲作」など、自分や子どもたちに必要な情報のキーワードを入れれば、何の本(雑誌)の何頁を調べればよいかがちがいにわかる。これらの

膨大なデータベースの中から二つ選んで必要なデータの本文部分を編集し、必要な部数だけ印刷・製本するのがオンデマンド出版だ。オンデマンド出版は、絶版本の受注出版といったイメージが持たれているが、食農デー

サイトを活用して、調べ学習を深めて「総合」を裏切る「モノ」を「モノ」出版で独自の教材づくり

「食と農 学習のひろば」の「本をさがす」のコーナー



「食と農 学習のひろば」の「本をさがす」のコーナー

「総合的な学習」の研究会発足!

「総合的な学習」の研究会発足! フォーラム「食」と「農」の地域教材で創る「総合的な学習の時間」と、食と農の情報活用講座「データベースを活用した教材づくり」が開催された(一〇月八・九日、徳島市)。開催したのは、九月に発足したばかりの「とくしま総合的な学習研究会」。研究会は「『総合的な学習の時間』を食農教育によって充実させ、子どもたちの「生きる力」の涵養に資すること」を目的としている。総合的な学習と食農教育の結合を謳った研究会は、この「とくしま総合的な学習研究会」が全国で初めてだ。国立教育研究所の奈須正裕先生を初めとした講師陣が「総合的な学習とはなにか」という問題に実践的に切り込んだフォーラムと、農文協の食と農のデータベースを活用

## 農文協 http://www.ruralnet.or.jp/lib/ 「ルールル電子図書館」

「ルールル電子図書館」は、会員の方だけがご利用できる本格的な電子図書館です。食べもの・健康・農業・環境などの情報を検索できます。出版物の著作権を保護する立場から会員制で運用しております。

- <「ルールル電子図書館」で利用できるコンテンツ>
- 「現代農業データベース」1985年以降近刊号まで5万ページ、2万余件のデータを収録
- 「日本の食生活全集データベース」全国300地域、5000人の話者より取材した、昭和初期の日本の食と暮らしのデータベース。52000種類の料理、15000枚のカラー画像データ、豊富な地域の暮らしテキストデータを収録。
- 「農業技術大系データベース」約9万データ。農業研究の集大成である土壌施肥編、野菜編、作物編、果樹編、花卉編、畜産編の6シリーズを全巻にわたって検索します。
- 「写真データベース」特選コーナーの他、イネ・野菜・果樹などの作物の栽培・診断、土づくり・施肥、病害虫・天敵、花卉、畜産、林業、昭和30年代の農業と暮らし、健康・食べものなど10のジャンルのぼう大な写真をデータベース化



年会費25,200円(入会金サービス)  
データ表示50頁まで無料、50頁以上1頁につき50円課金

(社)農山漁村文化協会「ルールル電子図書館」事務局  
〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1  
TEL.03-3585-1149 FAX.03-3585-6466